

## 自立活動について

八幡支援学校  
自立活動部

## 八幡支援学校の自立活動

2

小学部

教育課程

中学部

教育課程

高等部

教育課程

自立活動の「時間における指導」を  
設定し取り組む

教育活動全体を通じて取り組む

### 【担任】

- ①自立活動の「時間における指導」を行う。
- ②教育活動全体をとおして、自立活動の視点を大切にしたい指導を行います。

### 【自立活動部】

- ①自立活動の「時間における指導」を行う。
- ②クラスやグループによる自立活動の「時間における指導」について、担任と連携する。
- ③日常的にクラスに入り、担任と連携し自立活動の視点を大切にしたい指導を行う。

# 自立活動の意義

3

## ・ 自立活動とは、

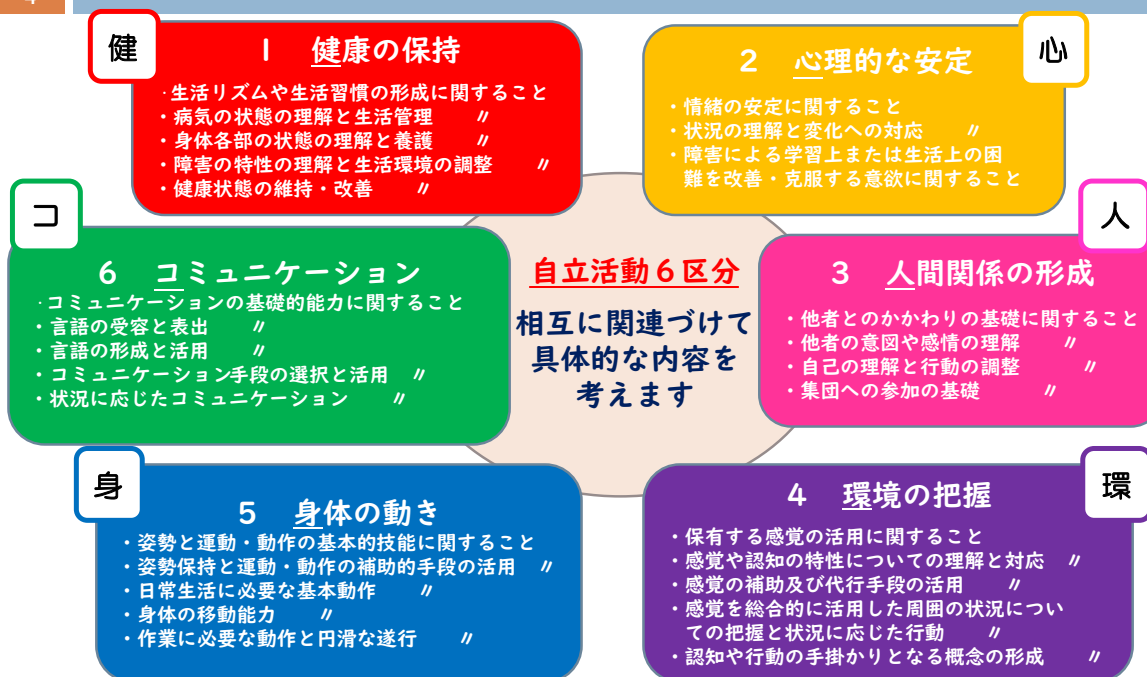
児童生徒が日常生活や学習場面で困っていることを改善・克服するための学習です。

心身の調和的な発達の基盤に着目して指導しています。

自立活動の指導が各教科において育まれる資質・能力を支える役割を担っています。

# 自立活動の内容

4



# 自立活動部

5

- 八幡支援学校には、自立活動部の中に「運動機能」、「言語指導」、「療育指導」の3分野があり、担任・各分野担当間で連携しながら教育活動をすすめています。

**「運動機能」**…姿勢・運動に障害があり、生活上・学習上の困難に課題がある児童生徒に対し、身体の動きに関わる取組を行う。

**「言語指導」**…言語・コミュニケーションに課題のある児童生徒に対し、発声発語機能の改善や聞き分ける力を高める取組や、様々なコミュニケーション手段を獲得・活用につながる取組を行う。

**「療育指導」**…個々の認知特性や発達段階に応じた効果的な支援（環境調整や手立ての工夫等）を考え、日常生活に必要な能力や社会性・コミュニケーション能力を身に付ける、自己肯定感を高める等を目指した取組を行う。

# 各分野の取組内容の紹介 I

6

各分野の具体的な取組内容の一部を紹介します。

**運動機能**…

「様々な道具やICT機器を使用した取組について」

**言語指導**…

「聞く力を高める課題について」

**療育指導**…

「自立課題の様々な取り組み方紹介」

## 様々な道具や ICT 機器を使用した取組について

(自立活動部 運動機能)

運動機能では、肢体不自由のある児童生徒の身体の動きに関わる取組を行っています。また各クラスの授業での身体に関する取組についての相談、サポートも行っています。

肢体不自由のある児童生徒の在籍するクラスでは、学校生活全般に渡って児童生徒の活動の幅を広げるために、様々な道具やスイッチ、機器類を使用して身体の動きを活かすことを大切にしています。様々な取組の中から、いくつかの事例を紹介します。

コンパクト洗濯機を使用して、クリーニングの作業学習を行いました。手元のプッシュスイッチを押すと洗濯機が動くことを理解し、洗濯機の様子をよく見ながら取り組みました。



様々な食材をミキサーで混ぜることに取り組みました。手元のプッシュスイッチを押すとミキサーが動いて食材が混ぜられていく様子をよく見ながら取り組みました。

### <iPad 活用事例>

iPad に活動に応じたスイッチや機器類を接続して、上肢の麻痺などにより画面をタップすることが困難でも、スイッチ操作でアプリを使用できるようにしました。重度の肢体不自由があっても他の児童生徒と同じように活動できるようになり、自ら腕や指などを動かして主体的に活動する姿が見られました。

カメラアプリを使用して、友達の学習している様子をパチリ。後で授業の振り返りとしてみんなで見て確認しあいました。



ボーリングゲームアプリを使用して、ボーリング大会をしました。迫力ある画面の様子に注目したり、友達ががんばる様子を見たりしながら、白熱した試合を繰り広げました。

電池で動く機器を遠隔操作できる道具を使用して、楽器を鳴らしました。ひもスイッチを引っ張ると離れた位置から楽器の音が聞こえてくることを、不思議に感じながら何度も鳴らして楽しみました。



# 聞く力を高める課題の紹介

(自立活動部 言語指導)

聞く力を高めることによって、ことばを理解する力につながることから、簡単な聞き分け・聞き取りの学習に取り組んでいます。楽しみながら様々な音やことばに触れる機会を増やしています。



## 音の聞き分け・聞き取り

### 内容

- ・身近な音(CDやアプリなどを使用)を聞き取り、何の音か答える。
- ・ことばで言いにくい場合は絵カードを用意して、音に合う絵カードを選択する。
- ・次第に「ザーザー」「ワンワン」「ドンドン」など音声で提示されたことばを聞き取り、何の音か答える。

生活音－雨、拍手、泣く、電車

楽器音－ピアノ、太鼓、ラッパ

鳴声－いぬ、ねこ、ライオン、せみ、小鳥 など



## ことばの聞き分け・聞き取り①

### 内容

- ・お寿司屋さんのイメージで「～と～ください」と注文された物を作って渡す。
- ・はじめは注文カードを手渡してお寿司屋さんとお店屋さんがそれぞれどんな役割で、何をするのかわかってから取り組む。
- ・次第に「～と～と～ください」と注文数を増やす。  
「～を2個ください」と数概念を入れる。など

他にも、レストラン、ドーナツ屋さん、ハンバーガーショップなど



## ことばの聞き分け・聞き取り②

### 内容

- ・日常事物を少し遠くに置いておき、「～はどこ？」と言われた物を取りに行く。答え合わせとして、持ってきた事物と問われていた絵カードを合わせ、合っているか確認する。
- ・次第に「～と～はどこ？」と数を増やす。  
「大きい～はどこ？」「赤い～はどこ？」と比較概念、色概念を入れる。



他にも カルタ、伝言ゲーム、旗揚げゲームなど ことばの聞き分け・聞き取り③(次回) に続きます。

# 自立課題の取り組み方紹介

(自立活動部 療育指導)

自立活動の時間に取り組む課題の1つである、自立課題(一人でわかって取り組める課題)と対面課題(教師と向かい合って学習を進める課題)を紹介します。一人一人の課題のねらいや発達、特性に合わせて課題を選びます。

あか

## 課題 (定位活動・マッチングの力を使った課題)



ピン球プットイン



木片プットイン



カーラーはめ



ペグさし



ペグさし (重い)



2種積木プットイン



ゴムかけ



4色ゴムかけ



積木プットイン (小)



木棒プットイン (小)



おはじきプットイン



割り箸袋入れ



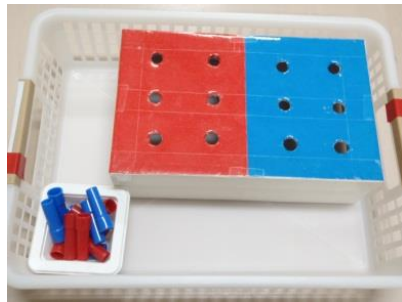
ボールペンキャップはめ



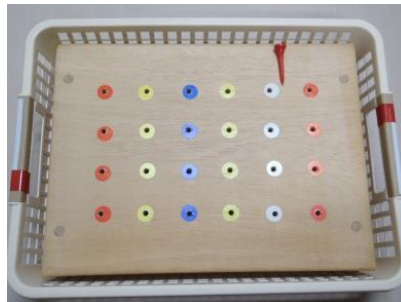
カラーボールペンキャップはめ



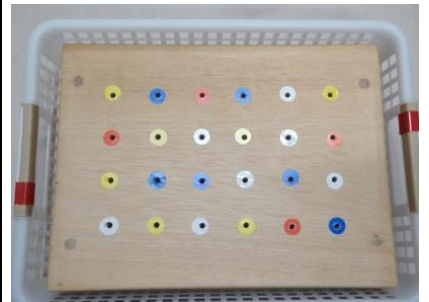
鉛筆キャップはめ



2色弁別ペグさし



ペグさし



ペグさし2



カラーカップはめ



ピンチどめ



ピンチどめ2



ピンチどめ3



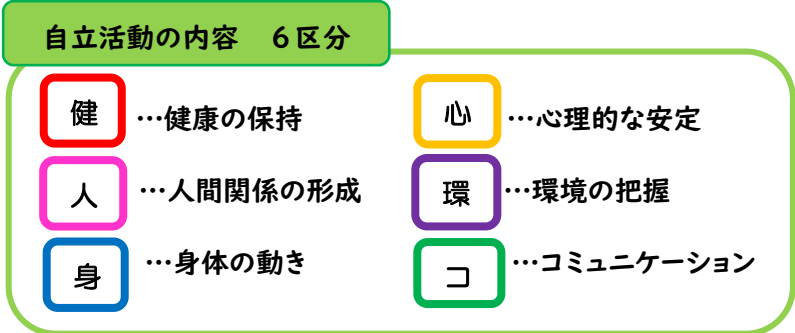
5種分類



果物マッチング

\*個人の実態や課題に応じてねらい立てします。自立課題(1人で遂行する)対面課題(教師と向かい合って学習を進める)等、学習形態によってもねらいや取り組み方が異なります。

【教材名・写真】	ねらい	説明(取り組み方の例)
<p>木棒プットイン(小)</p> 	<p><b>環</b> <b>身</b></p> <p>〈自立〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目と手の協応</li> <li>・手指の操作性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・穴に木棒をとおします。</li> <li>・穴の周りにシールや色をつけると、穴の場所がわかりやすいです。</li> <li>・木棒を“プスッ”ととおした時の手応えや“カラン”という木棒が落ちた時の音が好きな児童生徒も多いです。</li> </ul>
<p>4色ゴム掛け</p> 	<p><b>コ</b> <b>環</b> <b>身</b></p> <p>〈自立〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目と手の協応</li> <li>・手指の操作性</li> <li>・色の弁別</li> </ul> <p>〈対面〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指示理解</li> <li>・認知の基盤</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色を見て、同じ色の棒にゴムを掛けます。</li> <li>・「白色の棒に白色のゴムをかけて」など、教員の言葉を聞いて取り組むことで、言語指示理解の力を高めることもめざせます。</li> <li>・「ピンク2つかけて」と数の認知にもつなげることができます。【認知の基盤(数への気づきを促す)】</li> </ul>
<p>3色キャップしめ</p> 	<p><b>環</b> <b>身</b></p> <p>〈自立〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目と手の協応</li> <li>・手指の操作性</li> <li>・色の弁別</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボトルの蓋をしめ、同じ蓋の色のケースにボトルを入れます。</li> <li>・片方の手でボトルを持ち、もう片方の手で蓋をしめるといった動作は、巧緻性を高めることにもつながります。</li> </ul>





きいろ

## 課題（見本・複数工程ある課題）



野菜マッチング



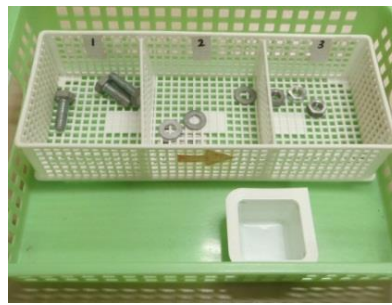
フェルト玉マッチング



形マッチング



カラースプーンマッチング



ボルトナット組み立て



ボルトナット組み立て（長）



ボルトはめ 大中小



2種キャップしめ



3色キャップしめ



キャップしめ（小）



紙 封筒入れ



短冊 封筒入れ



国旗マッチング



ミニチュア食べ物マッチング



色形マッチング



数字・ドットマッチング



フェルト玉3色マッチング



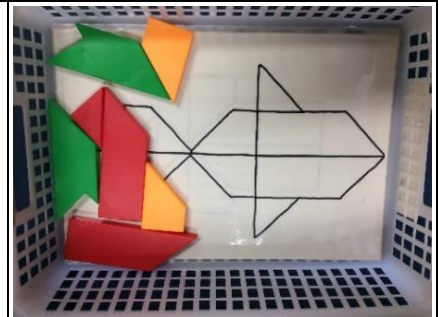
クリップどめ色マッチング



フェルト玉指示マッチング



指示チェーンつなぎ大



形マッチング



ブロック組み立て



汽車組み立て



カラーペグマッチング



マッチング箸入れ



弁別2こつなぎマッチング



カラークリップ弁別容器入れ



色紙マッチング



ブロック組み立て



ボビン容器入れ



形マッチング袋入れ



チェーンつなぎ



チェーンつなぎ袋入れ



大中小紙クリップどめ



衣類マッチング5×5



スプーンフォーク袋入れ



動物分類



ビーズひも通し



カラーブロックひも通し



2種ビーズ容器入れ



乾電池容器入れ



洗面道具袋入れ



大小スナップどめ



カラーストロー袋入れ



三角マッチング



3色コースタークリップどめ



数字(1~3)ピンチどめ



カードケース入れ

\*個人の実態や課題に応じてねらい立てします。自立課題(一人で遂行する)対面課題(教師と向かい合って学習を進める)等、学習形態によってもねらいや取り組み方が異なります。

【教材名・写真】	ねらい	説明(取り組み方の例)
<p>生活物品マッチング</p> 	<p>環 コ</p> <p>&lt;自立&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マッチング</li> </ul> <p>&lt;対面&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名詞理解</li> <li>・応答性の指差し</li> <li>・概念の分類</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左側に入っている容器からキャップを取り出し、右側の台紙と同じイラストを探して、マッチングさせていきます。</li> <li>・応答性の指差しをねらう場合は、教師がキャップのイラストを見せ、同じ絵はどこにあるか尋ねます。枠の中にある同じ絵を探して、指差して押さえたり、名詞で答えたりした後に、キャップを同じイラストの枠に入れていきます。</li> </ul>
<p>汽車組み立て</p> 	<p>環 身</p> <p>&lt;自立&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目と手の協応</li> <li>・手指の操作性</li> <li>・モデル理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵カード(モデル)を見ながら、同じ位置に積木を穴に通して組み立てていきます。色と形の2つの要素を見たり、三角と三角を合わせて四角を構成したりしながら組み立てていくため、試行錯誤の力が必要となってきます。</li> </ul>
<p>ピンチどめ3</p> 	<p>コ 環 身</p> <p>&lt;自立&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指先の力</li> <li>・ピンチ把握の力</li> <li>・手指の操作性</li> <li>・数(1対1対応)</li> </ul> <p>&lt;対面&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指示を聞いて実行</li> <li>・数の基礎</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指示書を見て取り組む課題です。小、中、大のそれぞれの大きさの紙を1枚ずつとり、重ねた状態でクリップでとめていきます。とめた物を完成品をいれるカゴに入れていきます。</li> <li>・「小さい紙を2枚クリップでとめましょう」や「中の紙1枚、大の紙を1枚クリップでとめましょう」等の教師の指示を聞いて取り組みます。</li> </ul>



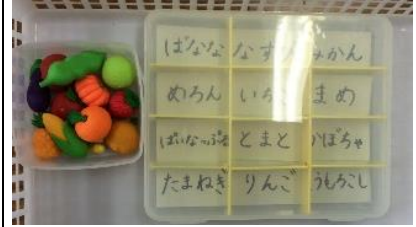
# 課題 (モデル・文字指示の課題)



カラークリップどめ



ミニチュア食べ物マッチング



ミニチュア食べ物マッチング



動物・食べ物容器入れ



フェルト玉袋入れ



キャップ袋入れ



積木袋入れ



すしマッチング



動物積木マッチング



ストロー長短袋入れ



おはじきリングはめ



3色ドットマッチング

\*個人の実態や課題に応じてねらい立てします。自立課題(一人で遂行する)対面課題(教師と向かい合って学習を進める)等、学習形態によってもねらいや取り組み方が異なります。

【教材名・写真】	ねらい	説明(取り組み方の例)						
<p>食べ物マッチング(ひらがな)</p> 	<p>コ 環 身</p> <p>&lt;自立&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字と具体物のマッチング</li> </ul> <p>&lt;対面&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>名詞理解</li> <li>目と手の協応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食べ物の2分割を合わせて、文字を読んで指定の位置に置いていきます。</li> <li>食べ物を包丁(おもちゃの)で2分割する課題や、文字が読めない子どもにも、言葉で「トマトください。」と言って、2つ見つけて合わせ、「とまと」と読んで入れる課題にも使えます。</li> </ul>						
<p>長短色弁別ストロー袋詰め</p> 	<p>コ 環 身</p> <p>&lt;自立&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字指示理解</li> <li>長短・色理解</li> <li>手指の操作性</li> </ul> <p>&lt;対面&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言語理解</li> <li>言語指示に応じる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ながい」「みじかい」に分かれているストローを、袋に書いてある指示を見て入れていきます。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="962 976 1230 1061"> <tr> <td>ながい</td> <td>あお</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>みじかい</td> <td>きいろ</td> <td>4</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>上の指示を聞いて、ストローを渡します。個々の理解に合わせて、指示する数や色を多くしたりします。</li> </ul>	ながい	あお	3	みじかい	きいろ	4
ながい	あお	3						
みじかい	きいろ	4						
<p>用途~するものはどれ?</p> 	<p>コ 環</p> <p>&lt;自立&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>用途理解</li> </ul> <p>&lt;対面&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>具体物を使っての用途理解</li> <li>実際に使ってみる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はるもの はさむもの等が書いてある位置に、セロテープ ホッチキス 等の名詞カードを貼っていきます。そして、ミニチュアの具体物を入れます。</li> <li>実際に具体物を使って、セロテープで紙を貼ったり、紙をホッチキスで留めたりして用途を理解できるように促します。</li> </ul>						

あお

## 課題(文字/文章・複数工程ある課題)



スプーン袋入れ(色指示)



積木袋入れ(色・形指示)



フェルト玉マッチング(大小指示)



ビーズ容器入れ(色・数指示)



クリップどめ(色・数指示)



ペグ容器入れ(色・数指示)



スプーンフォーク容器入れ



形推理



形推理2



クリップつなぎ



計算をしよう



割り箸袋入れ(色指示)





左足はどれ？



体の部位・自然の名称



ひもつなぎ



クリップどめ(色・大小指示)



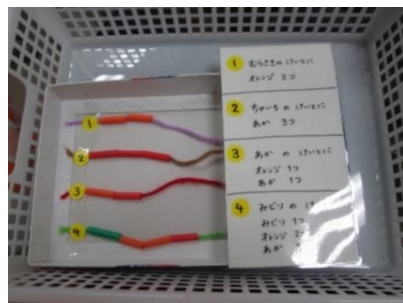
ビーズ容器入れ(色・数指示)



ミフェルト玉ニカップ入れ



乗り物袋入れ



ストローひもつなぎ



私はだれでしょう？



サイコロをおきます



ボタンケース入れ(色・数指示)



~~している人はだれ？

\*個人の実態や課題に応じてねらい立てします。青課題では文字指示を見ながら実行する自立課題(1人で遂行する)に取り組むことが多いです。1つの課題量も増えます。

【教材名・写真】	ねらい	説明(取り組み方の例)
<p>ビーズ容器入れ(色・数指示)</p> 	<p>環 コ</p> <p>&lt;自立&gt; ・指示書を見て実行</p> <p>&lt;対面&gt; ・過不足を伝える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「黄のハート2個、青の星2個、赤のハート3個」等文字で色・形・数の3つの要素の指示が書いてあるので、容器から指示されたビーズを取り出し、フィルムケースに入れていきます。</li> <li>・事前にダミーのビーズを入れたり、抜いたりしておき、過不足分を言葉や文字で報告するように取り組みます。ミスなく取り組んだり、確認しながら取り組んだりできるようにします。</li> </ul>
<p>サイコロをおきます</p> 	<p>環 コ</p> <p>&lt;自立&gt; ・指示書を見て実行 ・色の弁別 ・数の認知</p> <p>&lt;対面&gt; ・指示理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みずいろのサイコロを3を上におきましょう。」「あおのサイコロを6をしたにおきましょう」と文字で書いてある指示を見て、そのとおりにサイコロを置きます。</li> <li>・口頭で指示を聞き、実行できるか確認することもできます。</li> </ul>
<p>コップ玉入れ(指示書)</p> 	<p>環 コ</p> <p>&lt;自立&gt; ・指示書を見て実行 ・上下左右〇番目の理解</p> <p>&lt;対面&gt; ・指示を聞いて実行</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「右の一番上のむらさきにあおを入れる」「左から2列目の一番上のみどりにあかを入れる」等の指示を見て色の玉を所定の位置に置きます。</li> <li>・上の指示を聞いて、色の玉を所定の位置に置きます。聞き逃したときには、「もう一回言ってください。」等の援助要請を出す練習もできます。</li> </ul>